

## 目標管理型政策評価ロジックモデルの構築 ワークシート【作業用】

2018 年 11 月 7 日（水）

### ■ 演習課題

以下の演習課題のうち、「1.【例題】振り込め詐欺対策」を除く五つの政策事例から任意に一つの政策事例を選択し（全てでなくて構いません）、当該政策について、「政策評価対象特性」を考慮したロジックモデルを作成してみてください。その際、個別政策事例が、全体のタイプのどこにあてはまるのかについても検討してみてください。

### ■ ワークシートを用いた演習課題

1. 【例題】振り込め詐欺対策
2. 法曹養成制度の充実
3. 国家戦略特区の推進
4. 電子政府・電子自治体の推進
5. 保育所の受入児童拡大とニーズ対応
6. 政策評価制度の改善

### I. 作業（1）：政策評価対象特性を考慮したロジックモデルの構築

- ① 政策評価対象特性を検討する。
- ② そのボトルネックとなる問題を考え、「問い」を立てる。
- ③ これを説明する仮説を考える。
- ④ 考えた原因をもとに、行政による投資（インプット）から、最終成果（アウトカム）への政策評価のロジックモデルを作成する。
- ⑤ あわせて、そのパス実現への阻害要因を検討する。

### II. 作業（2）：全体の類型論への個別政策事例のあてはめ

- ① 個別事例の検討を踏まえて、改めて、全体の類型の中での位置付けを検討する。
- ② 時間があれば、その他の政策事例についてもその位置付けを検討し、「ばらつき」を理解する。

## I. 作業（1）：

### 政策評価対象特性を考慮したロジックモデルの構築

#### 1. 【例題】振り込め詐欺対策

- **概要と目的**：振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺は、日々巧妙化・多様化し、国民に甚大な被害が生じていることから、この操作活動及び予防活動の強化により、被疑者の早期検挙及び被害の続発防止を諮る。

- **例**：

|                        | 年度       | H22   | H26    | H27 |
|------------------------|----------|-------|--------|-----|
| 特殊詐欺の認知件数及び被害総額を減少させる。 | 認知件数(件)  | 6,540 | 12,388 | ↓?  |
|                        | 被害総額(億円) | 120.9 | 526.7  | ↓?  |
| 特殊詐欺の検挙件数及び検挙人員を増加させる。 | 検挙件数(件)  | 4,299 | 3,242  | ↓?  |
|                        | 検挙人員(人)  | 717   | 1,784  | ↓?  |

- **状況**：むしろ、認知件数の増加と検挙件数の低下が指摘されるが・・・

| 政策評価対象       | 例:「振り込め詐欺対策」(国家公安委員会・警察庁)  |
|--------------|--|
| ①政策評価対象特性の類型 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題解決・短期定量型</li> <li>➤ 評価の実践</li> </ul>  |
| ②問題(Y)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● なぜ問題の認知は拡大しているにもかかわらず、詐欺被害の拡大を抑えられないのか。</li> </ul>  |
| ③原因(X)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術の進歩と犯罪手法の高度化</li> </ul>   |
| ④ロジックモデル     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● インプット:ITを活用した金融機関へのセキュリティ・システムの開発・導入</li> <li>● 活動:ITを活用した金融機関へのセキュリティ・システムの利用促進とそのインセンティブ供与</li> <li>● アウトプット:金融機関におけるITシステム利用促進度の数値増加</li> <li>● アウトカム:特殊詐欺の拡大を防ぎ、被害総額を減少させる</li> </ul> |
| ⑤阻害要因        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象組織におけるシステム導入のコスト・学習の難しさ</li> <li>● 「イタチごっこ」に陥る危険性(新たな犯罪手法の登場)</li> </ul>  |

## 2. 法曹養成制度の充実

- 概要と目的：高度の専門的な法律知識、幅広い教養、豊かな人間性及び職業倫理を備えた多数の法曹の養成及び確保
  - 例：法曹有資格者の海外展開を促進する方策検討のための調査研究（H26:23 百万円⇒H27:30 百万円）
- 状況：どうやら、法曹有資格者の活動領域が限定されているようだが・・・

### 【ワークシート】

|              |  |
|--------------|--|
| 政策評価対象       | 法曹養成制度の充実  |
| ①政策評価対象特性の類型 |  |
| ②問題(問い)      |  |
| ③原因(仮説)      |  |
| ④ロジックモデルの作成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インプット：</li> <li>・活動：</li> <li>・アウトプット：</li> <li>・アウトカム：</li> </ul> |
| ⑤阻害要因の検討     |  |

### 3. 国家戦略特区の推進

- **概要と目的**：国家戦略特別区域法の下、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進し、産業の国際競争力の強化、国際的経済活動の拠点形成を促進することにより、国民経済の発点及び国民生活の向上に寄与すること。
  - 例：事業数の累計拡大（H27:100 件⇒H31:200 件）
- **状況**：「事業数の累計」を増やすとするが、これは限定的な推進にとどまる・・・

#### 【ワークシート】

|              |  |
|--------------|--|
| 政策評価対象       | 国家戦略特区の推進  |
| ①政策評価対象特性の類型 |  |
| ②問題（問い）      |  |
| ③原因（仮説）      |  |
| ④ロジックモデルの作成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インプット：</li> <li>・活動：</li> <li>・アウトプット：</li> <li>・アウトカム：</li> </ul> |
| ⑤阻害要因の検討     |  |

#### 4. 電子政府・電子自治体の推進

- **概要と目的**：オンラインによる行政サービスの提供や自治体クラウドの推進等、ICT を活用した電子行政を推進することにより、国民の利便性向上と行政運営の合理化、効率化、透明性の向上をはかる。
  - 例：電子政府の総合窓口(e-Gov)へのアクセス件数（H25:261,414千件⇒H27:316,311千件）
- **状況**：しかし、その進展が限定的であることも指摘される。

#### 【ワークシート】

|              |  |
|--------------|--|
| 政策評価対象       | 電子政府・電子自治体の推進                          |
| ①政策評価対象特性の類型 |  |
| ②問題(問い)      |  |
| ③原因(仮説)      |  |
| ④ロジックモデルの作成  | ・インプット：<br>・活動：<br>・アウトプット：<br>・アウトカム： |
| ⑤阻害要因の検討     |  |

## 5. 保育所の受入児童拡大とニーズ対応

- 概要と目的：都市部を中心に見られる保育所の容量不足と待機児童問題を対象とし、「子ども・子育てビジョン」（平成 22 年 1 月 29 日閣議決定）に定める保育所受入児童数の目標値等を着実に推進する。
  - 例：受入児童数の拡大へ（H21:215 万人⇒H26 の目標値:246 万人）
- 状況：しかし、解決を見ない待機児童問題・・・

### 【ワークシート】

|              |  |
|--------------|--|
| 政策評価対象       | 保育所の受入児童拡大とニーズ対応   |
| ①政策評価対象特性の類型 |  |
| ②問題（問い）      |  |
| ③原因（仮説）      |  |
| ④ロジックモデルの作成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インプット：</li> <li>・活動：</li> <li>・アウトプット：</li> <li>・アウトカム：</li> </ul> |
| ⑤阻害要因の検討     |  |

## 6. 政策評価制度の改善

- **概要と目的**：行政評価局調査、政策評価推進及び行政相談の各機能の発揮を通じて、行政機関の実施する業務の不断の見直し、質の向上、国民の行政に対する信頼の確保を図る。
  - 例：次年度ごとに新規に 10 本の評価テーマを選定し、これに着手する
- **状況**：評価対象とする新規テーマ着手数を増やすことが求められるが、その政策評価実践の難しさも指摘される・・・

### 【ワークシート】

|              |  |
|--------------|--|
| 政策評価対象       | 政策評価制度の改善（行政評価等による行政制度・運営の改善）  |
| ①政策評価対象特性の類型 |  |
| ②問題（問い）      |  |
| ③原因（仮説）      |  |
| ④ロジックモデルの作成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インプット：</li> <li>・活動：</li> <li>・アウトプット：</li> <li>・アウトカム：</li> </ul> |
| ⑤阻害要因の検討     |  |

Ⅱ．作業（２）：  
全体の類型論への政策事例のあてはめ

|                      |        | 【目的】政策評価対象のマクロ特性 |              |                           |                               |
|----------------------|--------|------------------|--------------|---------------------------|-------------------------------|
|                      |        | (1)<br>課題解決型     | (2)<br>社会改善型 | (3)<br>制度管理型(制<br>度改善を意図) | (4)<br>維持・進捗管理型<br>(モニタリング類型) |
| 【手段】課題解決への<br>のミクロ特性 | ①短期・定量 |                  |              |                           |                               |
|                      | ②短期・定性 |                  |              |                           |                               |
|                      | ③長期・定量 |                  |              |                           |                               |
|                      | ④長期・定性 |                  |              |                           |                               |